



山登如

2021年度 付中通信 13号

当校休業中につき

2022. 1.24 (月) 高水高等学校附属中学校長 宮本 剛



感染力の非常に強いオミクロン株の影響により全国的に感染者が急増しています。日本は欧米諸国に比して水際対策を徹底していた間、感染拡大がデルタ株並みに抑えられていただけに、一旦市中感染が始まると容赦なく瞬く間に全国に広がり、爆発的に感染者が激増し始めました。

英国や米国ではすでに高止まり、どうやら減少傾向すら見え始めてきたようです。そんな中、日

本の厚生労働省は、感染しても病状悪化のリスクが少ない若年層には風邪と同じような対応でよいという見解を示し始めています。

しかし、こと教育業界は医療業界と同じく「命」にたいへん敏感ですから、国の方針は絶対です。保健所による濃厚接触者かどうかの判定や判定後の指示・指導が滞ると、自前で判断せざるを得ない状況に追い込まれ、苦慮されている学校関係者は実に多いことだろうと思います。

さて、連日各県で過去最多の感染者数を更新しているわけなのですが、本校では今週木曜日に高等学校の入学試験を実施する予定です。入試日直前に校内で本校生徒もしくは学校関係者が感染してしまった場合を想定し、大事をとって試験日直前の3日間について臨時休業の措置をとることにしました。

コロナ禍直後、いきなり学校は休業を余儀なくされ、生徒の家庭学習をどうフォローするか、学習支援対策に右往左往したものでしたが、ICTは完備され、一人1台タブレットが実現した今、この度の休業期間、各教室では百花繚乱のごとく遠隔授業が花開いていました。

